

2011年度 修学院フォーラム

## 「人と教育」

第3回

主催 (財)日本クリスチャン・アカデミー  
関西セミナーハウス活動センター

いのちをつなぐ教育が求められています。教育の課題を共有しつつ、対話を通して、共に考え、共に希望を見出したいと思います。

# 知の塵芥のなかで、自分をつくる

講師： 野田 正彰（関西学院大学教授）

近現代の歴史教育を中心に、中等教育がいかに歪んでいるか、話します。ドイツの教育についても、ふれます。

日本の教育の現状については、『教師は二度、教師になる』（太郎次郎社エディタス）、『子どもが見ている背中』（岩波書店）などを読んでおいていただくと、うれしいです。

（野田 正彰）

日時：2011年 11月 12日(土) 13:30～17:30

場所：関西セミナーハウス 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

参加費：2,000円、学生 500円 会場への地図は裏面をご覧ください。

11月9日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。  
ただし、定員に達し次第締め切ります。



野田 正彰 NODA Masaaki

1944年、高知県生まれ。北海道大学医学部卒業。長浜赤十字病院精神科部長、神戸市外国語大学教授などを経て、2004年度より関西学院大学教授。専攻は比較文化精神医学。主な著書に『コンピュータ新人類の研究』（文藝春秋、1987年、大宅壮一ノンフィクション賞）、『喪の途上にて』（岩波書店、1992年、講談社ノンフィクション賞）、『庭園に死す』（春秋社、1994年）、『災害救援』（岩波新書、1995年）、『戦争と罪責』（岩波書店、1998年）、『犯罪と精神医療』（岩波現代文庫、2002年）、『させられる教育』（岩波書店、2002年）、『教師は二度、教師になる』（2009年、太郎次郎社エディタス）、『現代日本の気分』（2011年、みすず書房）など。

## 2011年度 修学院フォーラムこれからのご案内

### 福祉とこころ

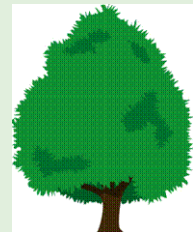
第1回 11月26日(土) 「子どものこころを見つめて～洛西愛育園の取り組みから～」  
講師:高木 恵子(洛西愛育園園長)

第2回 2012年2月18日(土) 「聖書に尋ねる福祉の思想」(仮)  
講師:岡山 孝太郎(日本キリスト教社会福祉学会副会長)

### いのちを考える

第3回 11月5日(土)  
「いのちについてーキリスト教倫理と一般倫理のはざまから」  
講師:関根 清三 (東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授)

第4回 12月17日(土)  
「いのちからの問い、いのちへの問いー生命倫理を超えて」  
講師:安藤 泰至(鳥取大学医学部准教授)



### (財)日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

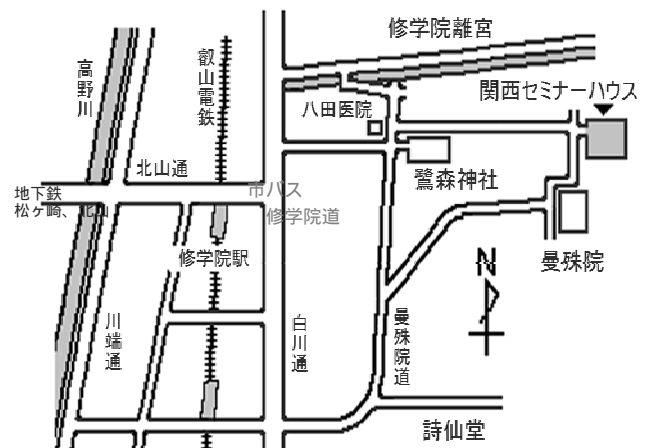
電話 075-711-2115

FAX 075-701-5256

電子メール [office@academy-kansai.org](mailto:office@academy-kansai.org)

運営委員長 小久保 正

プログラム係 都木 かおり



\* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

### 2011年度 修学院フォーラム「人と教育」第3回 参加申込書

(フリガナ) 名前	所属
住所〒	
電話( ) - FAX( ) - 携帯( )	
電子メール:	@
通信欄	